



2/1 湯築小児童が愛南町を学んでPR

松山市の小学校では、4年生の社会科の地域学習で「愛南町」を学んでいます。松山市立湯築小学校で、愛南町を身近に学ぶ「ぎょしょく出前授業」が行われ、4年生の児童80人が、模擬一本釣り体験やサンゴを守る活動等を学び、養殖ブリの試食もしました。

同校では4年1組の皆さんが、愛南町について学習し、学んだ内容を自らが観光大使となって、校内でPR、愛南町の知名度アップに貢献してくれていました。

その後、児童が制作した愛南町PR資料を愛南町役場1階ロビーに展示したり、清水町長がお礼のサプライズ訪問をするなど、湯築小学校と愛南町の交流が深まりました。

2/23 野球合宿の合間におもてなし

愛南町連合婦人会が、愛南町で合宿を行う同志社大学硬式野球部に、温かいぜんざいやじゃこ飯のおにぎりなどをふるまいました。

南レク城辺公園野球場で2月19日から26日までの期間で合宿している部員約120名に対し、前日から準備を行ったという婦人会の8名が愛南町の食材でおもてなしをしました。

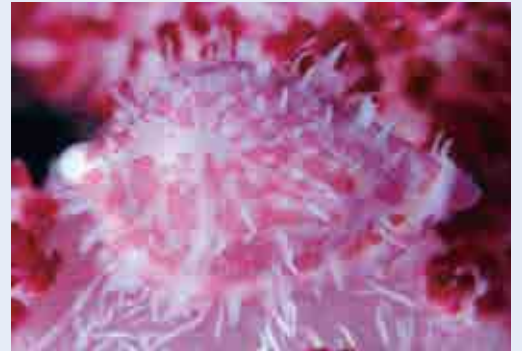
婦人会会長を務める森岡真由美さんは「学生に喜んでほしいと思って続けている。来年もまた来ますと言われるのが嬉しい」とやりがいを述べ、野球部主将の山岸大起さんは「毎年美味しいものを作ってほしい、みんな楽しみにしている。朝のランニングのときにも町の方に声をかけてもらうなど、愛南町は温かい町だと思う」と話しました。



あんなことや、
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.77

「桜色の宝石」



テンロクケボリガイ

桜の便りも聞かれ、普段は目立たない山桜もここぞとばかりに存在感を示している。海から眺める岬の山桜は、私の好きな愛南の風景の一つである。

昨年度の4月号で紹介をしたのだが、海の中には桜色をしたオオトゲトサカというサンゴがある。その中に、これまた桜色をしたテンロクケボリガイという貝が住んでいる。その美しさから海の宝石とも呼ばれ、ダイバーにも人気なのだが、なにせ1cmほどの大きさ。さらに、サンゴと同じ色をしているので、見つけるのが困難な生き物である。探して、探して、やっと見つけたときは、思わずガッツポーズ。

美しい貝なのだが、初めて見る人にとっては、どれが貝なのか分からないというのが残念なところでもある。写真の真ん中にドンと大きく写っているのだが…。

分かった人も、分からない人も、海の生き物の美しい色彩を味わっていただけると幸いである。

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる

3/ 2 砂田さん（城辺小）が事務次官賞

城辺小学校で平成 28 年度土砂災害防止に関するコンクールの受賞式が行われ、作文部門で国土交通事務次官賞を受賞した城辺小学校 5 年の砂田美乃さんと絵画部門で愛媛県砂防ボランティア協会会長賞を受賞した同 5 年、村田愛奈さんが表彰されました。

砂田さんは「防災学習の時間に防災マップを作ったことが心に残っていたので、それを題材にした。受賞できてうれしい」と話しました。

コンクールは、国土交通省と愛媛県が小・中学生に土砂災害の防止についての理解と関心を深めてもらうため、毎年実施しているもので、今年度は全国から 4,417 点の応募がありました。町内では右記の皆さんが入賞されました。



国土交通事務次官賞

作文部門 城辺小学校 5年 砂田美乃さん

愛媛県知事賞

作文部門 内海中学校 2年 伊勢楓華さん

愛媛県砂防協会会長賞

作文部門 緑小学校 4年 梶田栞樹さん

作文部門 内海中学校 2年 木田 尚さん

愛媛県砂防ボランティア協会会長賞

絵画部門 城辺小学校 5年 村田愛奈さん

絵画部門 中浦小学校 6年 濱田夢路さん

3/ 6 石垣の里で「だんだん雛まつり」

3月3日から4月3日まで、外泊地区で「だんだん雛まつり」が開催されました。これは地域の文化を保存継承し、誇れる郷土づくりを進めようと「外泊いしがき守ろう会」と外泊地域協議会が平成 19 年から毎年行っているもので、今年も会場には町内の園児や小学生らが制作した約 300 体の石雛が展示されました。

この日は、遠足の一環として船越保育園の園児 23 人が会場を訪れ、自分が作った石雛を見つけると歓声を上げて喜んでいました。



3/ 13 サツキマスシルバーお披露目

「ぎょしょく普及戦隊愛南ぎょレンジャー」の 11 番目のメンバー「サツキマスシルバー」がお披露目されました。デザインを担当したのは僧都小学校の全校児童 13 人です。南宇和高校美術部の協力を得て完成し、この日お披露目が行われました。



サツキマスはサケの仲間アマゴと同種、海に下るものがサツキマスと呼ばれ、町では新しい養殖魚を育てようと平成 26 年から産官学が連携して試験養殖を行っています。

僧都小学校では、地元のアマゴ養殖施設を見学したりしながら「サツキマス」について学び、デザインに反映させました。胸の「S」は「サツキマス」、「シルバー」、「僧都」の頭文字、児童らは「サツキマス」をいろんな人に知ってもらえるように活躍してほしい」と願いを込めました。

3/ 19 平城 SC の選手たちがプロ選手をエスコート！

平城 SC に所属する選手たちが、松山市のニンジニアスタジアムで開催された愛媛 FC のホームゲームで、試合開始前にプロ選手と手をつないで入場しました。この日は、愛媛 FC がホームゲームごとに県内の各市町と連携して試合を盛り上げるマッチシティ・マッチタウンが愛南町に設定されており、試合開始前のセレモニーで両チームに愛南町特産のヒオウギ貝が贈呈されたほか、愛媛 FC 所属で南宇和高校卒の玉林睦実選手に岡田副町長から花束が贈呈されました。



エスコートキッズを務めた沖平楓磨くん（平城小 5 年）は、「サッカーが大好きなので、プロ選手と一緒に入場できて嬉しかった」と話しました。試合は昨季 J1 に所属していた強豪の湘南ベルマーレ相手に白熱した試合展開となり、愛媛 FC は惜しくも 0 対 1 で敗れましたが、好プレーを披露した選手には大きな声援が送られていました。